

とうかいグッドトイ委員会 おもちゃ通信

2018年
11月号



ホームページ: <http://toukaigoodtoy.web.fc2.com/>

おもちゃ通信は会員同士の情報共有とつながりづくりを目的として発行する月刊通信です(^o^)

こんなおもちゃを見つけました

「スティックボット」

今回はラングスジャパンから発売されている「スティックボット」を紹介します。おもちゃは昔からその時代背景や産業発展に伴い変化を遂げていますね。平成のおもちゃの大きな特徴と言えば「電子化」「IT化」があげられるのでは。このおもちゃの目的はオリジナル動画を作ること。付属の人形をコマ送りのように一つ一つポーズを変えながらスマートフォンで撮影をして、一つのストーリーを作っていきます。

その遊ぶ過程はまるで実写アニメーションの制作をしているような。

子どもは遊びながらにして、映像を作り、インターネットで自分の作品を紹介する作業を身につけます。

「スティックボット」はまさに IT 化社会を象徴するおもちゃの一つではないでしょうか。基本セットは 1700 円程度。

シングルでは 800 円程度です。

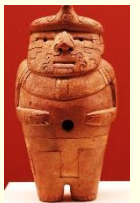
詳しくは「ラングスジャパン スティックボット」で検索してください。



おもちゃエッセイ⑧

「もしも古代人がおもちゃを作ったら？」

先日とても面白い展覧会に行ってきた。名古屋博物館で現在開催している「古代アンデス文明展」だ。何が面白いかと言えば、展示物の独特なデザインや色彩。おそらくピカソやダリが制作したと言われても信じてしまうかもしれない。そんなものが約 600 年～2500 年前のアンデス地域で作られていたというのだから驚かされる。中にはマスコットキャラクターやイラストとして現代でも商品化できるのではと思うくらいのもものが多数あった。「きっと古代アンデスの人たちは遊び心が旺盛だったに違いない！」展示物に遊び道具はなかったが、もしこの時代の人が作ったおもちゃがあったら是非見てみたいものだと考えながら、いつもは買わないガイドブックとガチャガチャを 1 回まわして会場を後にした。



★角さんの今月のゲーム

「メモアール」

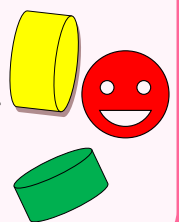
メーカー: シュピールヴィーゼ出版/ホビージャパン
プレイ人数 2~4 人 対象: 8 歳~ プレイ時間 15 分

今年も 10 月にドイツエッセンでボードゲームの祭典「Spiel」が開催されました。年々入場者数は増える一方で昨年は 18 万人超えだとか。私もいつか行ってみたいものです。今回はそこで発表された、年間の投票で選ばれるドイツキッズゲーム大賞 2018「メモアール!」をご紹介します。いわゆるメモリーゲームなのですが、7 回同じ配置で行う、脱落ありのサドンデス神経衰弱と言えばイメージがつかみやすいかもしれません。とにかく面白いです! 日本語版ももう出ているので試してみてください。



✂ 児童館活動ア・ラ・カルト(14) 中村児童館の『作って遊ぼう』

中村児童館では「コロコロラトル」を作成しました。ガムテープ芯の筒下にプラバンを貼ります。中に鈴やポンポンボールを入れてプラバンで筒上を閉じます。あなたならコロコロラトルをどのように遊びますか? 中村児童館では、寝転んでる 0 才台の子に家の方がコロコロラトルを転がしたり、振って動きや鈴の音を楽しんでいました。1 才台では、プラバン部分を叩いて太鼓にして歌に合わせてトントンと叩く様子もありました。走り回りた時期の子は自分でコロコロラトルを速く転がし走って追いかけて競争をしてました。参加者が自らが遊び方を見つけ笑顔で楽しんでいる様子を見ると、私達にはおもちゃコンサルト冥利につきるなあと感じる時間でもあります。



【編集後記】11月に入りました。私にとって悩める季節に入ってきます。そう! 年賀状のデザイン探しという時期に。最近時間は無く、本に頼りっきりです。今度こそはおもちゃにちなんだ何かを! 亥年? う〜ん。 by 内山